

【解答にあたっての注意】

- 一 専門試験は、史料解読と日本史学の二つからなる。
- 一 史料解読の試験は、問一から問四までの四問のなかから二問を選択して解答しなさい。
- 一 日本史学の試験は、問題文の指示に従って解答しなさい。
- 一 解答は問題ごとに別紙の答案用紙を用い、いずれも縦書きで記しなさい。なお、答案用紙の右側に、「史料解読」で用いる答案用紙（二枚）、「日本史学」を使う答案用紙（一枚）の区別を指定しているので、従うこと。
- 一 史料解読（二問）と日本史学の配点比率は、一対一である。

大学院入学試験問題
一般入試・社会人入試

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解読 科目

問一

次の史料を読んで以下の設問に答えよ。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

典拠：『類聚符宣抄』天曆二年（九四八）八月二三日宣旨

（黒板勝美編『新訂増補国史大系二七』吉川弘文館、一九三三年、二三六頁一三行～二三七頁四行）

（一）傍線部 a 「差分」について説明せよ。

（二）傍線部 b 「任用」について説明せよ。

（三）傍線部 c 「

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

」を、

漢字仮名交じりの書き下し文にせよ。

（四）この宣旨では何が問題視され、それに対してどのような措置が取られているか、説明せよ。

（五）この宣旨において、最初に指示が出されてからこの宣旨が書かれるまでの過程を、文面に表れている範囲で説明せよ。

一般入試・社会人入試

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解読 科目

問二 次に掲げる史料は、「常陸烟田（かまた）文書」のうちの一点で、『鎌倉遺文』三一巻二三八八三号より、出題者の判断で抜粋したものである。史料文中の句点、ふりがな、西暦、番号、記号などは、出題者が適宜付したものである。なお史料の表記は、一部書き改めたところがある。この史料を読んで、問（一）から（五）に答えよ。

烟田太郎^㉑知幹与徳^徳宿^宿孫太郎^孫景幹相論、景幹亡父^父義幹遺領常陸国鹿嶋郡徳宿郷内烟田・鳥栖・富田・大和田等事

右、①訴陳之趣、子細雖多、：如義幹祖父朝秀宝治元年（一二四七）十一月廿四日讓状者：嫡男一向可相伝知行云々。知幹為景幹兄之間、任朝秀状、可預裁許之旨、知幹雖申之、号嫡子者、父祖所立之家督也。②不可依生得之長男。随又知幹号景幹兄之条不実也。非義幹子息之旨、景幹論申之処、有祖母尼^㉒正観状：正観状者、景幹論之。雖可尋究真偽、知幹^㉓母儀者、正観扶持之由、知幹自称之間、正観状難被指南。且正観称令養育数年之間、③雖為一日片時、不随逐義幹之間、為子息之条、旁無支証。然則、云彼、云是、知幹之訴訟、非沙汰之限者、依鎌倉殿仰、下知如件
延慶三年（一二三〇）二月七日

陸奥守平朝臣在判
相模守平朝臣在判

（一）この史料について、末尾の発給者の地位と役割について、本文の記載を手がかりに説明したうえで、適切な文書名をつけよ。

（二）傍線①について説明せよ。

（三）文中に記号をつけた^㉑知幹、^㉒景幹、^㉓義幹、^㉔正観、^㉕母儀の人間関係を系図で図示せよ。^㉖と^㉗との関係については、史料中の用語を記入し適当に図示せよ。なお史料文中の記号は、人名の初出の箇所だけ付してある。答案には、記号^㉑、^㉒、^㉓、^㉔、^㉕を付記すること。

（四）傍線②を読み下し文に改めよ。なお読み下し文の漢字にはふりがなをつけること。また、前文等をふまえ解釈せよ。

（五）傍線③を読み下し文に改めよ。なお読み下し文の漢字にはふりがなをつけること。また、適宜言葉を補い、解釈せよ。とくに「随逐」の意味と、主語について明記せよ。

問三

別紙の史料は、江戸市中の行政を行うために、江戸町奉行所が編纂した『市中取締類集』に収録されている、天保十三年（一八四二）に寺社奉行から江戸町奉行へ宛てられた相談書の写である。別紙の史料と次に掲げる翻刻を読んで、以下の設問に答えよ。

翻刻

遠山左衛門（景元）殿江

松平伊賀守（忠優）

宮門跡・①堂上方、又者遠国大地の寺社家来、其外社人類、拙者共方江願濟貸附金取扱等ニ付旅宿届いたし居候もの共、事柄相分り無子細も候得共、右之内二者、帰国之儀申達候後も元来一己ニ而雑用不差出故、願筋等ニ②品を付、無益ニ逗留致「〔朱書〕或者拙者共方江届濟之様申成」、市中ニ旅宿を相構罷在、勸化・開帳其外願筋等功者ニ申唱、内実他之諸世話いたし候者も有之候哉ニ相聞、右之類取調申度候処、届置候分而已相糺候而者、届済与申紛、又者帰国之儀申達候後罷在候者共全調ニ相漏、取締も不行届候間、小口年番等江御申達、同役共誰と方届済与申唱、或者無故市中ニ旅宿等致し居候前書身分之者共名前・宿所等、③地借・店借・旅宿・同居とも一同ニ取調、為御差出御廻し有之候様致し度、尤拙者共方御掛合之趣、〔④〕、此段及御内談候

(一) 傍線部①の用語の読みを答えよ。

(二) 傍線部②の用語の意味を答えよ。

(三) 傍線部③に関して、家持との違いに言及しつつ、両者の特徴について説明せよ。

(四) 傍線部④の部分に入る文字を翻刻せよ。

(五) 本史料の差出は寺社奉行、宛名は江戸町奉行であるが、両者とともに三奉行を構成するもう一つの職名を答えよ。

(六) 天保期の寺社奉行が問題視している当時の江戸の社会状況について、本史料から読み取れる範囲で、問題が生じた背景に言及しながら簡潔に説明せよ。

出典…『市中取締類集』（国立国会図書館所蔵）

博士前期課程

大学院入学試験問題

2026年度第2期

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解読 科目

別紙

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問四 別紙の史料は、明治八年に出された陸軍卿からの達である。これを読んで、以下の問いに答えよ。なお、八行目から一五行目までの割書および印鑑は読まなくてもよい。

(一) 二行目から五行目までの命令の内容について説明せよ。

(二) 傍線①の人物について、知るところを述べよ。

(三) 傍線②と③について、これらの組織について説明せよ。

(四) 傍線④を漢字かな交じりの書き下し文に改めよ。
なお、五・六文字目は「周尾(しゅうび・名字)」である。

(五) 日本の徴兵制度の形成について知るところを述べよ。

出典：アジア歴史資料センター Ref. C09070054300

博士前期課程

大学院入学試験問題

2026年度第2期

人文学 専攻

分野・専門 日本史学

一般入試・社会人入試

問題種別

専門試験

試験科目

史料読解

(別紙)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

博士前期課程

2026年度第2期

大学院入学試験問題
一般入試・社会人入試

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 日本史学 科目

問 次の八つの語句の中から三つを選び、それぞれについて説明せよ。

舍人親王 北陸における東大寺領荘園 一切経（大蔵経） 代銭納

諸社禰宜神主法度 入会地 ロエスレル 国防婦人会

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 アジア史基礎

問 次の事項の中から 4 つを選択して、日本語で説明しなさい。

(各数行～10行程度)

解答は答案用紙に書き、選択した事項の番号を所定の位置に明記すること。

- (1) 三司
- (2) 三仏齊
- (3) 三別抄
- (4) 三長制
- (5) 三国史記
- (6) 三大陸周遊記
- (7) 三皇五帝
- (8) 五経正義
- (9) 五軍都督府
- (10) 五・三〇運動

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 東洋史学

試験科目 漢文文献解読

下記の文章を現代日本語に訳しなさい。

解答は答案用紙に記入すること。

軍機大臣字寄雲貴總督伯嘉慶十二年九月二十四日奉上諭伯麟奏緬甸遣使
投文懇求援助遵旨曉諭該國王一摺所辦甚是天朝撫綏外藩一視同仁斷無偏
助之理緬甸與暹羅同列藩服彼此稱兵構釁蠻觸相爭惟當置之不問若此時允
緬甸之請遽為出兵援助設暹羅亦復遣使敏關欲求援救彼時又將何以處之伯
麟遵奉前旨於此次請國王遣孟幹投文之時即行明白曉諭並將從前刀派功私
帶兵練出境本屬有罪之人禍由自取不能因一越境滋事之士司興師問罪

(故宮博物院編『清代外交史料』 1932年)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 西洋史学 科目

次の (A)、(B) から一つを選び、西洋史上の具体例を示しつつ、可能な限り幅広く論じなさい。

(A) 国境

(B) 商業

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 英語 (1) 科目

以下の英文を読んで、問いに答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 英語 (2) 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典 : Jürgen Osterhammel, "World History" in Axel Schneider and Daniel Woolf (eds),
The Oxford History of Historical Writing: Volume 5: Historical Writing Since 1945
(Oxford University Press, 2011): 93-94.

問 1 下線部の several paradoxes を順番に説明している複数の文章を本文から選び、それぞれを日本語に訳しなさい。

問 2 各括弧にあてはまる最も適当な語を以下から選びなさい。文頭に来るものも小文字にしてある。

for against through with outside thus as until from unlike

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 フランス語 科目

次の文章を読んで、下線部①、②、③を日本語に訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

①

②

③

出典：Sylvain Gouguenheim, *Regards sur le Moyen Âge*, Tallandier, 2009, p. 9.

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 考古学

試験科目 考古学 科目

問 1 交差年代決定法 (Cross-dating) について、説明しなさい。

問 2 考古学における学際研究の重要性について、実例を挙げつつ述べなさい。

問 3 文化遺産の保全修復に関する課題について、考えるところを述べなさい。

問 4 考古学における成果の社会還元のあるり方について、具体的に述べなさい。

問 5 考古学に関連する次の用語について、知るところを述べなさい。遺跡については所在地も記すこと。

- (1) チャタルホユック遺跡
- (2) 登呂遺跡
- (3) プロセス考古学 (Processual Archaeology)
- (4) 海洋リザーバー効果

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化人類学

試験科目 文化人類学 科目

問 1、下記のテーマ群の中からテーマをふたつ選び、それぞれ具体的な事例をあげながら自由に論じなさい。解答用紙はひとつのテーマにつき、一枚使用すること。

- ・ 社会集団と民俗知
- ・ ユネスコ無形文化遺産とコミュニティ
- ・ 相互扶助と贈与論
- ・ 類感的思考と感染的思考
- ・ オーバーツーリズムとインバウンド観光客
- ・ 獣害とマルチスピーシーズ

問 2、次の英文を読み、内容を要約しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

* 出典 : Wilder, Gray, 1999 Practicing Citizenship in Imperial Paris, *Civil Society and the Political Imagination in Africa: Critical perspectives*, Comaroff, J.K. and J. Comaroff (eds.), p.46, The University of Chicago Press. (一部改変)

問3、あなたが修士課程でおこなう予定の調査研究の計画について、できるだけ詳細に書いてください。調査の目的(何を、どこまで明らかにしようとするのか)、調査期間、調査項目、調査手法、調査の際の留意点や心構えなど、フィールドワーク論を踏まえて自由に記述してください。